



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月9日

上場会社名 キクカワエンタープライズ株式会社  
コード番号 6346 URL <http://www.kikukawa.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
TEL 0596-21-2130

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,113	17.5	123	14.8	181	0.6	143	23.5
2023年3月期第3四半期	2,650	9.4	107	67.9	180	57.7	115	63.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	118.43	
2023年3月期第3四半期	95.15	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	13,441	11,144	82.9	9,216.89
2023年3月期	13,277	11,029	83.1	9,147.36

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 11,144百万円 2023年3月期 11,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		35.00		90.00	125.00
2024年3月期		35.00			
2024年3月期(予想)				105.00	140.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	21.0	550	25.7	600	16.3	425	12.7	351.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,320,000 株	2023年3月期	1,320,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	110,861 株	2023年3月期	114,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,207,735 株	2023年3月期3Q	1,217,545 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における国際情勢は、利害を異にする国家間の分断が深刻な情勢が長期化し、世界的な原材料価格・エネルギー価格の高騰による物価上昇や欧米を中心とした金融引き締め等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内におきましては、コロナ禍からの経済活動正常化が進み、インバウンド需要の回復等により景気は緩やかな回復傾向となりました。

当社製造機械と関連の深い業界動向に着目しますと、木工機械関連については、国土交通省が公表した2023年12月の新設住宅着工数は7ヶ月連続の減少となり、中でも木造比率の高い持家需要は少子高齢化の進展により25ヶ月連続して減少傾向が続いており、円安に象徴されるごとく勢いに欠けたものであるとされております。

工作機械関連については、日本工作機械工業会が発表した2023年12月の受注額は、金利の上昇や世界経済の減速懸念などから前年同月比9.6%減の1,270億円と12ヶ月連続の減少となりました。

このような事業環境のもと、当第3四半期累計期間は、売上高31億1,398万円(前年同四半期は26億5,089万円)、営業利益1億2,303万円(前年同四半期は1億715万円)、経常利益1億8,133万円(前年同四半期は1億8,030万円)、四半期純利益1億4,303万円(前年同四半期は1億1,585万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億6,394万円増加し、134億4,157万円となりました。

これは主に、現金及び預金が減少したものの、製品及び仕掛品がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ4,863万円増加し、22億9,708万円となりました。

これは主に、未払法人税等が減少したものの、前受金及び繰延税金負債がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

また、純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億1,531万円増加し、111億4,449万円となりました。その結果、自己資本比率は82.9%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見直しを行なう上で、人材不足や人件費高騰に対する自動化・効率化や環境対応などへのニーズが高まりつつあることが上げられます。

しかしながら、エネルギーコストを含めた物価上昇や原材料等の長納期化が引き続き懸念されるなど、世界経済全体の先行きは不透明感が続くものと予想されます。

このような状況の下、日本政府が経済活動回復の為に、大規模かつ即効性のある物価対策などの各種政策を積極的に遂行して行く事にも期待したいと思っております。また、生産設備の自動化・省人化や、自動車の電動化に伴う設備投資意欲の向上等、景気回復の後押しとなり得るさまざまな要因にも注視したいと思っております。

木工機械関連では、環境対策としても資源量が豊富な国産材の自給率が40%台にまで改善しており、また低炭素型社会の実現を図る上でも再生可能資源である国産木材の大規模建築への利用拡大に対応するための新しい設備計画も増加しております。

工作機械関連では、各地で開催されているものづくりに関わる各種展示会も活況となっており、人手不足や人件費高騰に対応できるDXやAIを活用した新しい技術動向への興味が高まってきているように思われます。

こういった経済環境の中で、技術・製造面においては今まで築き上げた信用を大切にすると共に、更なる製品競争力の向上に向けて研究開発棟の活用や自社業務の効率、正確性を向上させるためのデジタル投資を図るなど、今後も全社が一体となって改善活動に努め、急速に変化する市場ニーズに応え得る顧客提案を推進して参ります。

なお、当社が掲げております業績予想は、現在入手している情報や実際の受注動向などから得られる一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により変動しうるため、その達成を当社として約束するものではありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,150,616	7,783,680
受取手形及び売掛金	1,078,459	1,040,105
有価証券	200,000	200,000
製品	37,574	232,412
仕掛品	326,991	468,499
原材料及び貯蔵品	73,138	77,056
その他	52,428	139,548
貸倒引当金	△107	△104
流動資産合計	9,919,100	9,941,197
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,191,727	1,191,727
その他(純額)	906,530	855,065
有形固定資産合計	2,098,258	2,046,793
無形固定資産		
	6,397	4,973
投資その他の資産		
投資有価証券	1,114,054	1,308,149
長期預金	100,000	100,000
その他	39,820	40,465
投資その他の資産合計	1,253,875	1,448,615
固定資産合計	3,358,531	3,500,382
資産合計	13,277,631	13,441,579

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	421,453	367,549
未払法人税等	84,640	469
前受金	585,702	699,167
賞与引当金	104,260	58,810
役員賞与引当金	55,000	41,250
その他	178,420	233,583
流動負債合計	1,429,476	1,400,830
固定負債		
繰延税金負債	9,644	82,547
退職給付引当金	633,082	633,343
従業員株式給付引当金	35,347	39,465
長期未払金	140,895	140,895
固定負債合計	818,969	896,250
負債合計	2,248,446	2,297,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	660,000	660,000
資本剰余金	395,877	396,925
利益剰余金	10,000,765	9,987,833
自己株式	△388,210	△375,848
株主資本合計	10,668,432	10,668,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360,752	475,588
評価・換算差額等合計	360,752	475,588
純資産合計	11,029,185	11,144,498
負債純資産合計	13,277,631	13,441,579

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,650,898	3,113,981
売上原価	1,722,792	2,071,291
売上総利益	928,106	1,042,690
販売費及び一般管理費	820,950	919,652
営業利益	107,155	123,038
営業外収益		
受取利息	723	1,006
受取配当金	25,540	30,926
為替差益	16,889	1,601
売電収入	11,450	12,048
助成金収入	12,330	—
その他	9,148	15,801
営業外収益合計	76,082	61,384
営業外費用		
支払利息	16	2
売電費用	2,642	2,929
その他	270	153
営業外費用合計	2,930	3,086
経常利益	180,307	181,336
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29,733
特別利益合計	—	29,733
税引前四半期純利益	180,307	211,070
法人税、住民税及び事業税	44,942	42,981
法人税等調整額	19,511	25,056
法人税等合計	64,454	68,037
四半期純利益	115,852	143,032

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第3四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

当社は、機械の製造並びに販売事業において単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。